

山梨県立病院機構未収金回収業務委託に関する質問に対する回答

令和3年10月29日(金)

問	項目	質問内容	回答
1	委託予定金額の件	今回契約開始時にご委託を予定されている債権(以下、初期委託債権)について主債務者人数及び委託予定総額をご教示ください。 ※2病院個別にご教示ください。	2病院とも未収期間が1年以上経過した債権について依頼 中央病院 55人、1,240万円 北病院 11人、130万円
2		初期委託債権における以下の概算比率をご教示ください(2病院合算で結構です)。 a.未収発生後1～2年の債権 b.未収発生後2～3年の債権 c.未収発生後3年超の債権	a.33% b.18% c.49%
3		外部委託済比率について 初期委託債権において、外部に委託したことがある案件の概算比率をご教示ください。 ※2病院合算で結構です。	契約更新時の初期委託債権額が現時点で不明なため回答が困難
4		2年目以降、追加となる債権額(概算予想金額で結構です)をご教示ください。 例:年間〇〇千円程度 ※2病院個別にご教示ください。	中央病院 年間330万円程度 北病院 年間200万円程度
5	実施要綱2(4)①ア 催告方法	文書送付及び架電、又は臨戸徴収とあります。臨戸訪問調査は行いますが、苦情発生やトラブルの防止を鑑み、臨戸による「徴収」は行っていません。その対応で問題ないかご教示ください。	その対応で問題はないが、企画書に徴収の方法について詳しく記載すること。
6	実施要綱2(4)②ア 滞納者からの入金方法	2つの口座を開設することは必須と考える必要があるかご教示ください。 昨今の犯罪収益移転防止法の関係で、金融機関において個別口座の開設には制限があります。2病院に対し1つの口座による対応では問題があるかご教示ください。	中央病院・北病院におけるそれぞれの未収患者の入金状況を分けて弁護士事務所が管理できるのであれば同一の口座でも問題ない。
7	実施要綱2(4)③及び仕様書5②報告業務について	指定報告書式及び報告方法について個別協議が可能かご教示ください。	可能である。
8	1. 企画提案書 2. ヒアリング	1. 総ページ数に制限があるかご教示ください。 2. 「ヒアリングの機会」との記載があるが、これはプレゼンの機会をいただける可能性があるかと解釈してもよいかご教示ください。 また、実施予定は、どの程度可能性があるのかご教示ください。	1. 総ページ数に制限はない。 2. プレゼンの機会はない。ヒアリングは企画書の確認後に当院から提案者に質問事項がある場合に実施するものである。
9		今回委託予定債権の金額及び件数の内訳をご教授ください。 未収発生から 1. 3年未満 2. 3年以上	1. 中央病院 34件、660万円 北病院 1件、30万円 2. 中央病院 21件、580万円 北病院 10件、100万円
10		3. 初委託分 (今まで一度もサービス及び弁護士等へ依頼したことがない債権)	3. 今回委託予定分のうち初めて委託するものは現時点では不明
11		4. 現在委託済分 (今までサービス及び弁護士等へ依頼したことがある債権)	4. 今回委託済分のうち、全てが既に委託済分
12		5. 初回委託時にお預け頂けるもの	5. 66件、1,370万円
13	別紙 業務仕様書6①エ・オ	1. エ・オの該当者は其々何人程なのか 2. 調査対象になる、委託合計金額の最低ラインの協議は可能か	1. エ 17人 オ 26人 2. 不可能である。